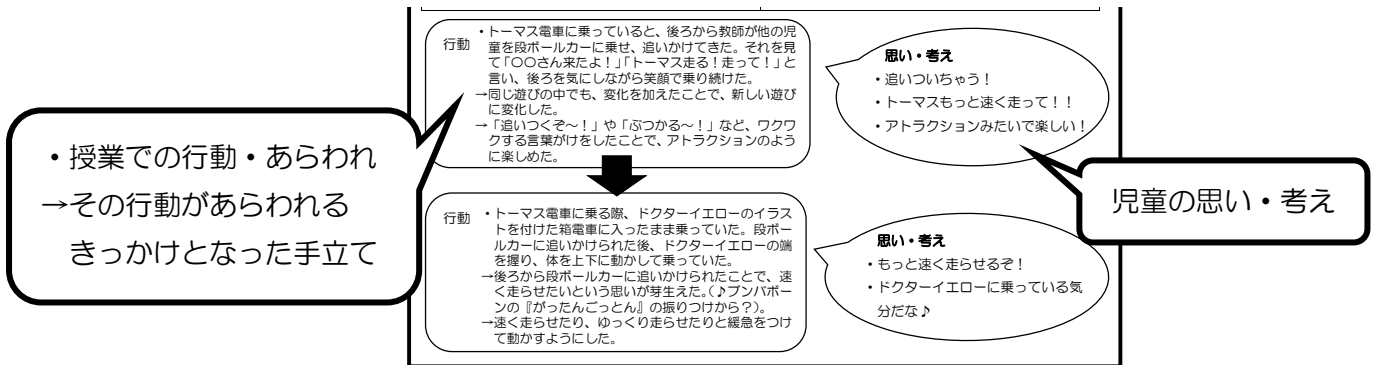


『小学部意見交換会』

小学部では、4人で1グループになり、1学期に行った遊びの指導や生活単元学習の授業実践を、事例児を挙げて話し合いました。その際、児童の行動とそれに影響を与えた手立てが書かれた見取りカードを使用して話し合いを進めました。



- ①授業についての説明
→授業の目標（目的）、活動内容
- ②事例児について
→授業を通しての変化やあらわれ
→有効だった手立て
- ③児童の良いあらわれや手立ての紹介
- ④質疑応答



見取りカード

授業改善を行う時に見取りカードを使用したことで、児童の行動からどのような手立てが有効だったのか、どのような成長（変化）が見られたかなど、どの学年でも児童の思いや考えを大切にされた授業が行われていたことを実感できました。また、児童の思いや考えから手立て、活動内容などを考えたため、興味関心をもって意欲的に活動に参加するようになった、自分から考えて教材や友達と関わるようになったなど良いあらわれの変化に気付くことができるツールであることを確認できました。